

この資料の内容＜試験の出題例＞

- | | | |
|---|--------|-------|
| 1 | 基礎能力試験 | p. 1 |
| 2 | 作文試験 | p. 9 |
| 3 | 適性検査 | p. 10 |

基礎能力試験

(社会科学)

【No. 1】 国際連合(国連)に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

A：1945年のサンフランシスコ会議で国際連合憲章が採択され、51か国を原加盟国として国際
の平和及び安全の維持などを目的とした国際連合が発足した。その後、国連の加盟国は増加し、
2013年末現在において190か国を超えている。

B：国連総会では、全加盟国が各一票の投票権を持ち、多数決によって決定を行っている。一方、
常任理事国5か国及び非常任理事国10か国で構成される安全保障理事会では、常任理事国が
拒否権を持っている。

C：国連は紛争地帯等で事態の悪化を防止する国連平和維持活動(PKO)を行っているが、その
活動は停戦の監視に限られており、選挙の監視等を行われていない。また、我が国の自衛隊は
2013年末現在までPKOには参加していない。

D：経済社会理事会では人権の保障や国際経済・社会問題を扱っており、多くの専門機関が同理
事会の下に設置されている。この専門機関の例としては、野生生物の保護や生態系の保護活動
で知られるアムネスティ・インターナショナルが挙げられる。

1. A, B
2. A, C
3. A, D
4. B, C
5. B, D

(人文科学)

【No. 】 古代のギリシアやローマに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ギリシアでは、紀元前8世紀頃に大西洋沿岸にポリスが建設された。ポリスでは、周囲が城壁で囲まれ、各地との交易は制限された。
2. ギリシアでは、紀元前5世紀頃にアテネで、平民による共和政が始まった。その後、貴族の政治参加が進み、平民と貴族による直接民主政に移行した。
3. ローマでは、アレクサンドロスが、北アフリカの商業国家カルタゴを破り、ギリシアとマケドニアを征服するなど、領土を広げた。
4. ローマでは、カエサルが独裁権を握るが、共和派に暗殺された。その後、オクタヴィアヌスがアウグストゥスの称号を受け、元首政が開始された。
5. ローマでは、キリスト教が生まれた。キリスト教徒は、コンスタンティヌス帝の時代に厳しい迫害を受け、カタコンベと呼ばれる地下墳墓に幽閉された。

(自然科学)

【No. 】 化学反応に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 化学反応では熱の出入りがみられ、酸化は一般に吸熱反応であり、使い捨てカイロには鉄の酸化が利用されている。
2. 物質が電子を失う変化を還元、逆に電子を得る変化を酸化といい、両者をまとめて酸化還元反応という。
3. メタン(CH_4)などの炭化水素を完全燃焼させると、二酸化炭素と水が生じる。
4. 水素と酸素が化合すると水が生じるが、水を水素と酸素に分解することはできない。
5. 塩化ナトリウム(NaCl)を水に溶かすとナトリウムは陰イオン、塩素は陽イオンとして電離する。

(課題処理)

【No. 5】 A～Eの5人は、回転ずし店で夕食をとった。
すしの値段は表のとおりであった。次のことが分かっている
とき、確実にいえるのはどれか。

| 皿の色 (値段) | ネタ | |
|--------------|-----|-----|
| 赤皿 (200円) | いか | たこ |
| 黒皿 (300円) | いくら | まぐろ |
| 金皿 (400円) | うに | たい |

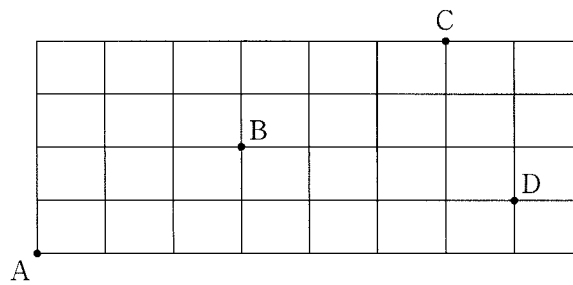
- 5人は、それぞれ3皿以上注文した。
- 5人が注文した金額の合計は5,000円であった。また、注文した金額が最も多かったのはAで、1,600円であった。
- 5人とも、「まぐろ」を注文した。
- A, B, Cは、「いくら」を注文した。
- Dは、赤皿を2皿、黒皿を1皿、金皿を1皿の合計4皿を注文した。
- 同じネタを2皿以上注文した者はいなかった。

1. Aは「たこ」を注文した。
2. Bは赤皿を2皿注文した。
3. Cが注文した金額は800円であった。
4. Dは「うに」を注文した。
5. Eは金皿を1皿注文した。

(数的処理)

【No. 】 図のように道が碁盤目状になっている街で、甲はA地点にある自宅を出て、B地点にあるスーパーで買い物をし、C地点にある病院へお見舞いに行った。その後、D地点にあるレストランで昼食をとり、A地点にある自宅に帰った。

このとき、最短の経路は全部で何通りあるか。



1. 900 通り
2. 1,600 通り
3. 1,800 通り
4. 3,200 通り
5. 3,600 通り

(資料解釈)

【No. 】 表は、A、B、Cの三つの市に居住する高校生の高校への通学距離について距離段階別に通学者数を示したものである。この表から確実にいえるのはどれか。

A、B、Cの三つの市に居住する高校生の
距離段階別通学者数(単位：人)

| 距離段階 \ 市 | A市 | B市 | C市 |
|--------------------|-------|-------|-----|
| 以上 未満 0 km～1 km | 354 | 415 | 223 |
| 1 km～2 km | 896 | 390 | 231 |
| 2 km～3 km | 760 | 274 | 210 |
| 3 km～4 km | 733 | 314 | 177 |
| 4 km～ | 471 | 255 | 63 |
| 計 | 3,214 | 1,648 | 904 |

1. 通学距離の中央値がある距離段階は、いずれの市も「2 km 以上～3 km 未満」である。
2. 通学距離が 5 km 以上の者の割合が最も高いのは、B市である。
3. 通学距離の平均が最も長いのはA市で、約 2.8 km である。
4. 各市の通学者について距離段階別の割合をみると、最も割合が高いのは、A市の「1 km 以上～2 km 未満」である。
5. 通学距離が 3 km 未満の通学者の割合が最も高いのは、A市である。

(文章理解 現代文)

次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

嫉妬して人を陥れることや害を与えることを、「妬害」や「嫉害」と呼ぶ。皇帝を有能な実子や側近への嫉妬にかりたて猜疑心を深くさせる術策は、現代の組織でもゆうに通用するほどだ。

そこまで人間のさがを悪くともなくても、^{かんげい}奸計をめぐらす旗手イアーゴも将軍オセローに述べたように、人間は「他人の弱点に首を突きこみたがる、時には嫉妬のあまり、そこに在りもしない過ちをこしらえあげてしまう」ような「悪い病気」から、完全に自由ではないのだ(『オセロー』)。

自分の才能に自信をもつ人は、他人が自分をねたんでいると思いき前にも、よく己の胸にも手をあて考えてみたらよい。己も他人を何かしら嫉妬していることに気がつくだろう。嫉妬は寒暖と同じかもしれない。適度に他人をねたむのは、人間の感情コントロールにとって爽快とはいえないにせよ必要悪の一面もあるからだ。

しかし嫉妬もゆきすぎれば、心中に鬱屈をもたらし本当の自分を見失ってしまう危険も大きい。適度の嫉妬心であれば、健康を維持する体内の自動調節作用のような働きをするかもしれない。

しかし、すさまじい嫉妬にさらされることに快感を得る成功者も多い。とくに芸術や芸能の世界では、人に嫉妬されるくらいでなければ良い仕事はできない。成功者は自分の考えた通りに人生や仕事がかうまくいった話を他人に聞かせたくなるものだ。そのために失敗する事例も少なくない。つい嬉しくなると、嫌味に気がつかず鼻高々に自慢話をするとなれば、周囲の人間も鼻じろむからである。

他人には、思いがけなく成功したといっておけばよいのだ。すると、奴は幸運が味方をしたにすぎない、俺はすこしばかり不運なのだ、と運のせいにすることもできよう。運を定めるのは実力や努力ではないから、人には自分を慰める余地が残される。まさにフランスのことわざにもいう、「自分を慰める言葉は見つかるもの」で、傷を癒せるのである。

- 1 人々の間に猜疑心を生み出すような「妬害」や「嫉害」と呼ばれるような悪い病気は、現代病のひとつに数えられている。
- 2 現代人が完全に自由を得ることができないのは、嫉妬のあまり、他人に奸計をめぐらし過ぎるからである。
- 3 嫉妬も度を越すと、自分の気が晴れずにふさぎ込むこととなり、本当の自分を見失ってしまう危険も大きい。
- 4 芸術や芸能の世界において成功する人は、嫉妬にさらされないように、うまくふるまう術を知っている。
- 5 人間にとって大事なことは、幸運といった実力や努力ではない運を、自分の方に呼び込むことである。

(文章理解 英文)

次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The Japanese have long thought of the sakura (cherry blossom) as the flower which symbolizes the nation.

It is mentioned in ancient myths, and the way its petals fall while still at the height of their beauty was interpreted by the old warrior class as symbolic of resignation and grace in death, qualities which the warriors rated highly.

There are numerous cherry blossom viewing spots throughout the country and one of the pleasures of life among the Japanese is the chance to hold a sake drinking party beneath a grove of cherry trees in full bloom.

The chrysanthemum^{*1} is another flower which, because of its use in the Imperial Crest^{*2}, is considered to be symbolic of Japan.

The pheasant (kiji), a bird which makes frequent appearances in Japanese myths and folklore, was designated the National Bird by the Japanese Bird Society in 1947. The pheasant is peculiar to Japan, and since it does not migrate, can be seen the year around. The male and female of the species differ greatly in both size and color. The male has a red face and dark-green neck, breast and stomach. Its back is purplish and it has a long tail with numerous black stripes. The female is light brown with black spots and has a short tail. The pheasant lives mainly in wooded areas near grassy fields or cultivated land. It makes its nest on the ground and lives on berries and insects.

* 1 chrysanthemum : 菊

* 2 crest : 家紋・紋章

- 1 日本各地に桜の名所があるが、桜の木の下で宴会を行うのは多くの名所で禁止されている。
- 2 菊も桜も散り際が美しいので、武士階級に好まれた。
- 3 キジは日本固有の鳥で、渡り鳥ではないので、日本では一年中見ることができる。
- 4 キジのオスは、顔が赤く、黒斑がたくさんある短い尾をもっている。
- 5 キジの多くは荒野の近くの森に住み、木の上に巣を作り、木の実や昆虫を食べている。

(課 題)

コミュニケーションの大切さについて思うこと

検査の説明

検査 1 この検査は、与えられた等式が成り立つように□の中に入る数を考え、その数のある箇所の数字と同じ位置にマークをするものです。

例題 (1) $\square \times 6 + 3 = 27$

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2 | 3 | 4 | 6 | 8 |

例題では、□の中に入る数は「 $\square = (27 - 3) \div 6$ 」の数式で求められ、この数式を計算すると、□の中に入る数は「4」になります。これは「3」の位置にありますから、マークは次のようになります。

→ 例題(1) 正答

検査 2 この検査は、与えられた文中の下線部の言葉について、五十音図のどの行（あ行、か行、さ行等）の音で始まるかと、使用している文字の種類（漢字、平仮名、片仮名）が何であるかをと、正しく組み合わせているものを分類表の中から選び、正しい組合せのある箇所の数字と同じ位置にマークをするものです。

(分類表)

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-------------|--------------|-------------|-------------|---------------|
| あ行 片仮名のみ | さ行 漢字と平仮名 | ま行 平仮名のみ | た行 片仮名のみ | さ行 平仮名と片仮名 |
| ま行 | た行 | さ行 | あ行 | ま行 |

例題 (2) 火星の土のサンプルを採取する。

例題では、文中の下線部の言葉は、始まりの音は「さいしゅする」の「さ」ですから、「さ行」に分類され、使用している文字は漢字と平仮名ですから、正しい組合せは「さ行 漢字と平仮名」となります。これは「2」の位置にありますから、マークは次のようになります。

→ 例題(2) 正答

検査 3 この検査は、正本と副本の表を見比べて、副本の誤りのある（正本と表記が異なる）箇所の数字と同じ位置にマークをするものです。

| 正 本 | | | | | 副 本 | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 製品名 | 製品A | 製品B | 製品C | 製品D | | 製品名 | 製品A | 製品B | 製品C | 製品D | |
| 売 価 | 130 | 135 | 140 | 150 | | 売 価 | 130 | 135 | 140 | 150 | |
| 利益率 | 15.4% | 14.8% | 25.0% | 20.0% | | 利益率 | 15.4% | 18.4% | 25.0% | 20.0% | |

例題では、正本の表の3行3列目のところが「14.8%」となっていますが、副本の表の同じところは「18.4%」になっており、この誤りは「3」の位置にありますから、マークは次のようになります。

→ 例題(3) 正答